

一般社団法人 京都損害保険代理業協会

60周年記念事業

未来へ繋ぐ



日時

2023年(令和5年)
1月27日(金)

場所

リーガロイヤルホテル京都

記念講演 講師

桧山 進次郎氏

野球評論家、スポーツコメンテーター

主催 一般社団法人 京都損害保険代理業協会

一般社団法人京都損害保険代理業協会60周年記念事業

未来へ繋ぐ プログラム

式典

2階 朱雀の間 開会／午後2時30分

開会宣言

黙祷（物故会員に対し）

倫理綱領

会長挨拶

来賓ご紹介

来賓ご挨拶

目録贈呈

功労者表彰

日本代協トータルプランナー認定証 授与式

記念講演

テーマ

「野球で繋がる未来」

講師

野球評論家
スポーツコメンテーター

松山 進次郎 氏

祝賀会

2階 春秋の間 開会／午後5時45分

オープニングビデオ

会長挨拶

鏡開き

乾杯

来賓ご挨拶

来賓ご紹介

ご歓談

アトラクション

クロージングビデオ

閉会挨拶



松山 進次郎氏
プロフィール

平安高校を経て、東洋大学へ進学。東洋大2年生時に首位打者を獲得。4年生の春には、主将としてリーグ優勝に貢献する。1991年ドラフト4位で阪神タイガースに入団。2001年から2003年までの3年間選手会長に就任し、2003年に4番に抜擢されると7月2日の対中日戦で史上58人目のサイクル安打を達成。18年ぶりのリーグ優勝へチームを導き、日本シリーズでも4番として出場。その活躍から優秀選手賞を受賞した。2005年にもリーグ優勝を果たし、2006年以降は活躍の場を代打に移す。2008年頃から代打での活躍で「代打の神様」と称されるようになる。2013年10月広島とのクライマックスシリーズで代打ツーランホームランを放つもチームは敗れ、結果としてこのホームランが現役最後の打席となり、ファンに惜しまれながらも引退した。代打通算158安打（球団単独1位、セ・リーグ歴代2位）、代打通算14本塁打（球団単独1位）111打点（球団単独1位、セ・リーグ歴代2位）を記録し、引退後は『野球解説者』『スポーツコメンテーター』として活動している。

会場MAP

